

平成 24 (2012) 年度 青少年教育施設を活用した交流事業 報告書

平成 24 年度

海は人をつなぐ 2012～絆～



独立行政法人 国立青少年教育振興機構
国 立 若 狹 湾 青 少 年 自 然 の 家

1. 事業概略

(1) 趣旨

国際化が進展する中、青少年自らが国際社会の一員であることを自覚し、異なる文化や歴史に立脚する人々と共生していくため、東アジアを中心とした海外の青少年を日本に招き、青少年教育施設を中核とし、周辺のスポーツ・文化施設、高等学校・高等専門学校・大学等関係機関と連携し、地域の特性を生かした自然体験・スポーツ体験・文化体験等の機会を提供することにより、日本に対する理解増進を図るとともに、招いた海外の青少年との国際交流体験を通じて、日本の青少年の国際的視野を醸成し、東アジアの中核を担う次世代リーダーを養成する。

(2) 実施機関（組織関係図を含む）

●日本側：①国立若狭湾青少年自然の家（総合運営）

②丹後海と星が見える丘公園（主に京都府宮津市での運営、交流）

③福井県立大学海洋生物資源学部

福井県小浜市立内外海小学校

（主に福井県での運営、交流）

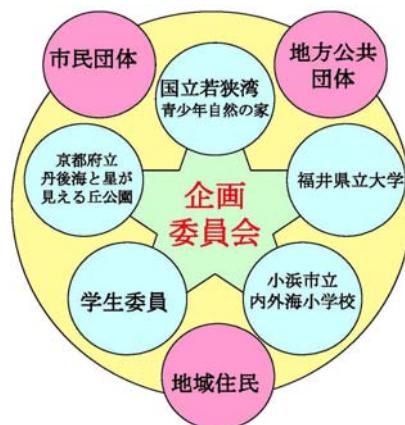
④学生委員（企画参与、運営補助）

上記の企画委員会構成主体のほか、地方公共団体

・市民・学生で実施体制を構築する。

●韓国側：南ソウル大学

（招へい者募集および報告会の開催）



【図 日本側実施体制のイメージ】

(3) 参加人数

①受入 ◆韓国招聘者 南ソウル大学を中心とした日本文化と環境問題に関心を持つ大学生 25名、引率者 5名 合計 30名

◆日本参加者 県内および近県の大学を中心とした大学生 6名、引率者 4名（協力スタッフおよび看護師を含む） 合計 10名

②派遣 ◆日本参加者 受け入れプログラムの交流の中で、中心的な役割を果たす等活躍のみられた参加者を含む、県内および近県の大学を中心とした大学生 7名、引率者 3名 合計 10名

(4) 日程

①受入：平成24年12月13日（木）～平成24年12月23日（日） 11日間

②派遣：平成25年 2月 7日（金）～平成25年 2月11日（月） 5日間

(5) 事業のポイント

○環境問題を「感じ、考え、行動する」

- ◆海流による漂着ゴミを共に回収
- ◆学びあい理解しあう環境交流フォーラムを開催
- ◆青少年自然の家での自然活動プログラムの体験
- ◆総合的な人間力を備えた次世代リーダーの養成

○韓国学生の日本理解の増進

- ◆海の道の歴史をたどり、文化に触れる
- ◆兵庫・豊岡～福井・若狭湾の移動の中で、市民・学生との交流
- ◆滞在地での環境保全活動、環境学習
- ◆韓国で学んでいる日本語のスキルアップ、実践的応用

○次世代リーダーの人間力の向上

- ◆求める3つの資質
 - ① コミュニケーション能力
 - ② 問題認識能力
 - ③ 情報発信力
- ◆総合的な人間力の向上とリーダー資質の獲得
- ◆アジアの中核として活躍できる次世代リーダーの養成

○事業の評価方法

- ◆個人の成果の確認および活動評価アンケートの実施
- ◆事業を点検し達成度を検証する評価方法および評価会
- ◆4段階評価法でのアンケート調査

国立若狭湾青少年自然の家では、韓国で日本語を学ぶ大学生らが、船で海を渡り、兵庫（豊岡市）・京都（宮津市・京都市）・福井（若狭地方）で、各地の市民や学生達と交流を図る。その中で、国際的な環境問題について考える場を持つ。一つは、海流によって漂着した大陸由来のゴミの回収作業を行う。もう一つは、日本の美しい自然環境を様々な角度で感じたり、考えたり、体験する。最後に、日本の学生と環境フォーラムを開催し、日韓間に存在する環境を中心とした諸問題とともに学び、語りあい互いの文化を理解し合う。

韓国学生は海を中心とした環境問題について、日本の文化・歴史に対する理解を深めるとともに学習した日本語を活用し実践する場として総合的な能力の向上が期待される。また、日本学生は漂着ゴミ回収や環境交流フォーラムを韓国学生と共同で行うことで、交流を深めるとともに国際的な環境問題についての共通理解を図る。さらに、アジアの中核となる次世代リーダーとして必要とされる国際的なコミュニケーション能力、問題認識能力、情報発信力といった総合的な人間力を高め、アジアを牽引していくことが期待される。さらには、今回の交流において中心的な役割を果たす等活躍のみられた日本の青少年を含め韓国で開催される報告会等へ派遣し、次世代リーダーとしてのさらなる資質向上を図る。

受入事業報告

1. 日程

	月 日	場 所	時 間	内 容
1	12月13日 (木)	福井 島根	9:00	結団式（国立若狭湾青少年自然の家） 島根県出雲市へ移動 【宿泊】島根県立青少年の家
2	12月14日 (金)	鳥取 兵庫 京都	9:00 14:00	境港着 兵庫県豊岡市へ移動 環境学習①（コウノトリの郷公園の取り組みについて ：豊岡市立コウノトリ文化館） 京都府宮津市へ移動 【宿泊】京都府立丹後海と星が見える丘公園 天橋立ユースホステル
3	12月15日 (土)	京都	9:00 13:30	環境学習② 漂流物について講話 (琴引浜ネイチャーカラーハウス) 環境学習③ 京都自然塾(京都府立丹後海と星の見える丘公園) 【宿泊】京都府立丹後海と星が見える丘公園 天橋立ユースホステル
4	12月16日 (日)	京都 福井	9:30 14:30 18:00	海浜清掃① 漂着物回収(京都府宮津市・天橋立にて) 福井県小浜市へ移動 交流事業①（日本の高校生とのスポーツ部活動を通して の交流 福井県立若狭高等学校硬式野球部） 歓迎セレモニー（国立若狭湾青少年自然の家） 【宿泊】国立若狭湾青少年自然の家
5	12月17日 (月)	福井	9:00 13:00 14:30 19:00	海浜清掃② 漂着物回収 自然学習（ラムサール条約について：三方五湖ラインボーライン） 日本文化を体験する① 座禅体験 韓国船救護についての講話（泊の歴史を知る会） 【宿泊】国立若狭湾青少年自然の家
6	12月18日 (火)	福井	9:30 13:30 15:00	日本・若狭の伝統文化体験活動（漆ダルマ製作） 交流事業②（小浜市立内外海小1年生との交流会） 韓国船救護記念碑見学 【宿泊】国立若狭湾青少年自然の家
7	12月19日 (水)	福井	9:30 14:00 17:00	日本・若狭地方の歴史学習（大陸から伝わった文化に ついて 福井県立若狭歴史民族資料館） エネルギー環境学習（株）日本原子力発電 敦賀原子力館 日本文化を体験する②（温泉体験） 【宿泊】国立若狭湾青少年自然の家
8	12月20日 (木)	福井	9:30 15:00 19:00	環境学習③（福井県海浜自然センター） 環境交流フォーラム（福井県立大学小浜キャンパス） 評価会 【宿泊】国立若狭湾青少年自然の家

	月 日	場 所	時 間	内 容
9	12月21日 (金)	京都	11:30 14:00	京都府京都市へ移動 京都教育大学・環境教育実践センター見学 交流事業③（環境問題をテーマにした ディスカッション in 京都教育大学） 【宿泊】京都新阪急ホテル
10	12月22日 (土)	京都 鳥取	9:00 18:30	選択活動（京都市内散策） 鳥取県境港市へ移動 境港発 【宿泊】国立若狭湾青少年自然の家
11	12月23日 (日)	福井	9:00	解散式（国立若狭湾青少年自然の家）



【京都府立丹後海と星が見える丘公園にて】

3. 研修報告

(1) 環境交流フォーラム

日韓学生が事業実施中に学び実践したことを発表する場として環境交流フォーラムを実施した。フォーラムではグループセッション形式で海の環境問題について、1)どのように現状を認識したか、2)どのような解決方法を考えたか、3)それを実践するためにどのような行動を起こすか、を中心にまとめた。さらに、4)事業中に学んだこと、体験したことから自分が何を得たのか、5) (歴史や文化を含めた)事象に対する理解がどう深まったのか、そして 6)未来の日韓関係への想い、の項目についてグループでの意見交換と全体での発表を行った。フォーラムで発表された内容は本事業の狙いが参加者にどのように受け止められたかを間接的に観察する機会として活用するとともに、4段階評価法でのアンケート調査を行った。日韓の大学生について共通する質問項目の結果は以下の通り。表中の数値は上位2段階の数値合計である。



質問項目	韓国	日本
海の環境問題についての理解が深まったか	100%	100%
環境問題を解決していくための意欲が高まったか	100%	100%
日韓間の歴史について理解が深まったか	92%	100%
国際関係を発展させていくための意欲が高まったか	92%	100%
国際的なコミュニケーション能力が身についたか	100%	100%
環境問題を意識することができたか	100%	100%
適切に情報発信することができたか	96%	83%
相手国の生活文化をより理解することができたか	100%	100%

計画では、アンケート項目について4段階評価を行い、上位2段階の数値合計が90%以上となるように努力することとしていた。上記のような結果から、概ね達成されたと分析する。分析詳細については以下である。



韓国学生において「日韓間の歴史に関する理解の深まり」に関する数値にやや低い傾向が見られたが、彼らがこのような交流を繰り返すことで、理解は深まっていくと考える。また、全体のコミュニケーションは大変スムーズであったが、「適切に情報発信することができたか」について低い数値となった。日韓両学生からは、お互いの言語をうまくしゃべることができないことで、自分の思いや考えを十分伝えられなかつたという反省が出ていた。ただ、その反省に立ち、今後自分自身の言語能力を向上させていきたいという考えになっている。「打ち解けるまでの不安はあったが打ち解けるのに時間はかかるなかつた。」「言葉の壁はあるかもしれないが、面と向かって話せばコミュニケーションは可能である。」といった感想もあり、設定した「求める3つの資質」に関しても、次世

代リーダーとしての人間力の向上が図られたと考えられる。

(2) 評価会



フォーラム後実施した評価会では、事業参加者、スタッフによって本事業の成果を点検・評価し、実施内容の有用性について検証した。その際に日本入国時に韓国側招聘者が記入したものと日本参加者が参加する前に記入したレディネスシートを元に評価・検証を行った。また、活動アンケートからも実施した活動についての意見なども聞くこととした。

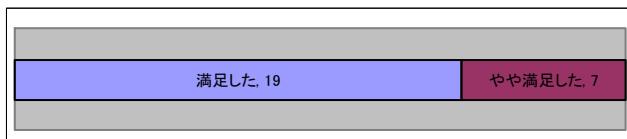
最後に、日韓両国の参加者に、この事業に参加しての意見や気づいた点について発表してもらった。以下が発表内容の詳細である。

- 良い経験になったと思います。参加してよかったです。
- 日本をより深く理解できた。
- 日本人は、思っていたよりも親切である。
- いつも親切にしてくださってありがとうございました。
- 何より日本の方々が親切にしてくださったことに気づきました。
- 友達もたくさんできて、日本語も勉強できてとても良かった。
- 「海」というテーマの中でいろんな社会経験も含めて、とても楽しく勉強ができたと思います。
- さまざまなことが見学できて経験することができて、本当に意味のある研修でした。
- 海と山が見える素敵な場所で宿泊でき手とても良かった。
- とても良い事業である。今後も毎年続けられると良い。
- 時間を守れるようになった。
- 畳の部屋を経験できてよかったです。
- 日本語が下手ですが、本当にやさしくしてくださって感謝します。また来るときはたくさん勉強してきます。
- 今回の研修は最初は大変だった。日本の学生の指示に従って行動することはみんな難しかった。少しずつ生活しながら団体行動の重要なことと配慮することの心を教えてもらってうれしかった。
- これからも積極的に参加していきたい。
- 日本の友達がもっとほしい。いい友達がいっぱいできたらうれしいです。
- 活動はたくさんあってよかったですが、活動間の休憩時間があまりなくて大変だった。
- 夜に時間ができるも満足がなくて困った。
- 温泉の時間をもっと延ばしてほしい。温泉の時間が短くて残念だった
- 商店が近くにあるところに宿泊したかった。
- すごいプログラムは良かったが、宿泊に関してはちょっと不便で残念でした。
- みんな寒いと感じていた。



4. 各活動アンケート結果および感想

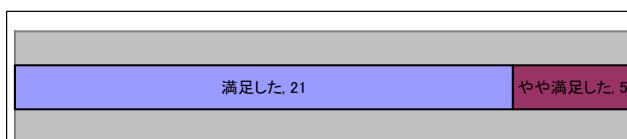
○12月14日（金）午後 【環境学習①】：コウノトリの郷公園の取り組みについて



コウノトリについて全然知らなかった。だから、研修を受けてわかるようになってうれしかった。絶滅した理由があんまりにも簡単な理由だったから驚いた。もっと環境に関心を持つようにしたい。
オ ミョンソク

コウノトリが地域の経済に役に立っていることにすごく感動した。
ジョン ヒョンソン

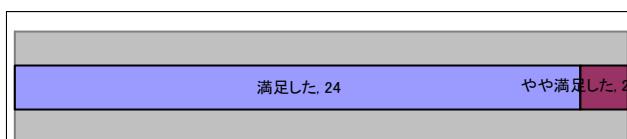
○12月15日（土）午前 【環境学習②】：漂流物についての講話および体験活動



あらためてこんなに沢山の漂着物が韓国から流れてきたことを見て驚いた。環境問題の深刻さについて考えて、私はゴミを捨てないようにしようと思った
コ ミンジン

砂の中にある小さな漂着物を探した。はじめは何だろうと思っていたが、だんだんと面白くなりよい時間となった。貝殻のアクセサリー作りも良かった。
パク ソンヒ

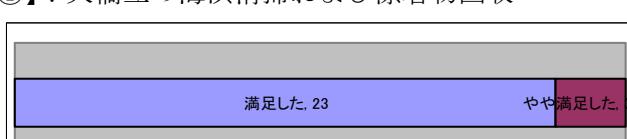
○12月15日（土）午後 【環境学習③】：京都自然塾



地球の環境問題について、いろんなことを学んでよかったです。環境について最初に微生物が生まれたことを知りました。また、直接外に出て、地球について学んだことは私にとってとても有益であった。
コ ミンジン

地球の歴史について知ることができてよかった。
パク サンミン

○12月16日（日）午前 【海浜清掃①】：天橋立の海浜清掃および漂着物回収



日本に来て、ゴミを拾ったのはとてもうれしかった。また、日本人と話すことができたことも良かった。でも、韓国では拾ったことがないのが残念だった。
ペ ジョンヒョン

地球環境は、アジアだけでなく世界中で関心を持つべきだということを学んだ。
ソ ドンヒョン

○12月16日（日）午後 【交流事業①】：日本の高校生とのスポーツ部活動を通しての交流
(福井県立若狭高等学校 硬式野球部)



高校の部活動を見ることができ楽しかった。また、一緒に体験する機会もあって楽しかった。 キム サンヒョン

私が好きな野球をする機会があり、とてもワクワクした。
とても楽しかった。 キム ナウン

○12月17日（月）午前 【海浜清掃②】：大浜～赤石の浜の海浜清掃および漂着物回収



遠いところから見たときはきれいに見えて掃除する必要がないと思ったが、実際に浜辺に出たら予想以上にゴミが沢山あってびっくりした。そして、韓国のゴミもあって、とても恥ずかしかった。私の国のが、外国に被害を与えるなんて、と思ったら、私から気をつけていかなければいけないと思う貴重な時間となった。 ソン エジン

○12月17日（月）午後 【日本文化を体験する①】：座禅体験（芳春禪寺）



今日、俺は自分の限界を感じた。そして、俺はもっとがんばらなくちゃって思った。 コン ヒョンウク

寺で今回のようなことを初めてやった。足がつるかと思うくらい大変だった。でも、お菓子や抹茶、そして、寺の雰囲気がとても印象に残った。 キム ハギョン

○12月18日（火）午前 【日本・若狭の伝統文化体験活動】：漆ダルマ制作



漆ダルマの体験は楽しかったし、また、「夢」というものがどれだけ重要なものがわかる講義であった。 イ ユミ

先生の絵はすごく良かった。ダルマを作ることも面白かったが、先生がしてくださいました話が感動した。いつも夢を持って努力をし、進んでいったらいいと思った。 ペク ミラン

○ 12月18日（火）午後 【交流事業②】：小浜市立内外海小学校1年生との交流

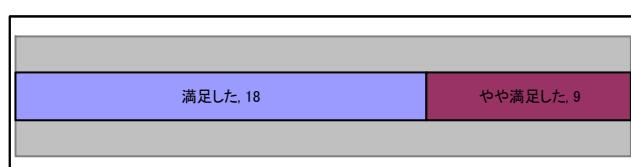


1年生が私たちのために準備をしてくださった歌と踊りは、すごくかわいいかった。

また、グループを作って名刺ももらうことができた。とてもいい気持ちを感じた。短い時間だったけれど、いい思い出を沢山作つた。1年生のみなさん、ありがとう～！

ペク ミラン

○ 12月17日（月）夜 【韓国船救護の講話】：前日夜、大森氏より韓国船救護の講話
12月18日（火）午後 【韓国船救護記念碑訪問】韓国船救護記念碑を訪問する。



大森さんに会うことができてうれしかった。夏に歌った歌を作った人だということを知ってびっくりした。

イ ミョンジュン

我々の研修目的の中で、一番大事なものについて研修し、とても感動した。大森さんの考えについてすばらしいと思った。

キム ミンソン

どうして韓国船が流れてきたかの歴史を知り、全く知らない人間に対して真心こもったお世話をあげた泊の人々の優しい気持ちが伝わる時間となった。

イ ユミ

韓国船救護記念碑の説明を聞いた後、実際に現場に行ってとても感動した。100年を超えた韓日の関係がわかつたような気がした。

オ ミョンソク

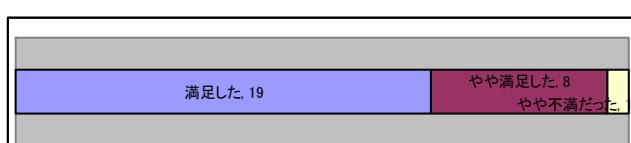
昨日、大森先生の講義を受けて本当に良かったと思った。どうして私たちが今回の研修に参加をするのかを理解することができた。直接、記念碑を見て、さらに感動した。

ペク ミラン

海は人をつなぐ、母の如し。いい言葉だ
ベ ジヨンヒョン



○ 12月19日（水）午前 【日本・若狭地方の歴史学習】：大陸から伝わった文化について
(福井県立若狭歴史民族資料館)



日本の歴史について、少しでも勉強する機会となって、本当に良かった。

イム ソヨン

歴史博物館で日本の歴史を習いながら、韓国の歴史を思い出してみることができた。

イ セヒ

○ 12月19日（水）午後 【エネルギー学習】：日本原子力発電所 敦賀原子力館見学



放射能の対処の方法についても、もっと知りたいと思った。
オム グンファ

原子力発電所は韓国でも行きづらいですが、日本で行く
機会になってよかったです。キム サンヒョン

めったに見られない原子力発電所に入ることができて、
とてもうれしかった。キム ソンウ

○ 12月19日（水）午後 【日本の文化を体験する②】：温泉体験（みかた温泉きららの湯）

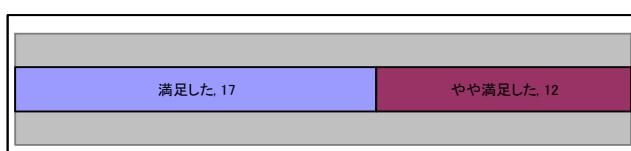


みかた温泉きららの湯に温泉に行ったが、時間が短くて
とても残念だった。コン ビヨンイル

みんなで温泉に入って、あたたかい気持ちになった。新
しい経験になってよかったです。キム ナウン

温泉、すごかったです。でもすぐにあがってしまって、
それは残念でした。パク サンミン

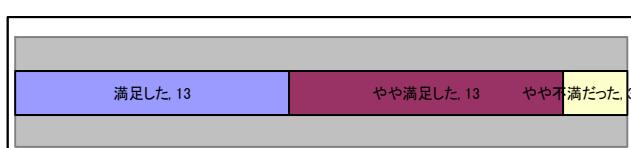
○ 12月20日（木）午前 【環境学習④】：福井県海浜自然センターにて環境学習を深める。



自然の環境を守るために、みんなが頑張っていることを、
ここで改めて感じることができた。私の国、韓国でもこの
ような守る人々がいて、ちゃんと守ってくれているのかどうかに
疑問が出てきました。オ ミョンソク

いろいろ説明をしてくださってよかったです。魚に
食べ物をあげることができて楽しかった。3D 映像も見る
ことができてよい時間となった。ペク ミラン

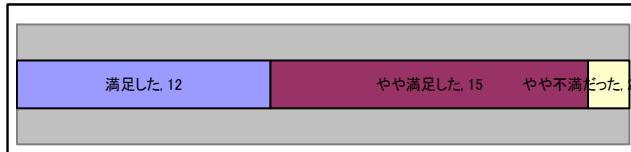
○ 12月20日（木）午後 【環境を考える交流フォーラム】：福井県立大学にて



環境理論の講義も受け、日本の大学生と一緒に漂着物に
対する自己移入しながら、環境に関する発表をしたのは、
とても楽しかった。ジョン ヒョンソン

日本の大学生と一緒に環境について考える機会はとても
良かった。もっと日本の大学生が多かったら、もっと良か
ったと思った。キム ミンソン

○12月20日（木）夜 【評価会】：本事業について評価をする。



楽しいプログラムがいっぱい、「勉強」というよりも「楽しみながら気づく」ということを感じた研修の振り返りができた。
イ ユミ

本研修について、いろんな意見が出てよかった。もっと自由時間が会ったらもっといい研修になると思った。
コ ミンジン

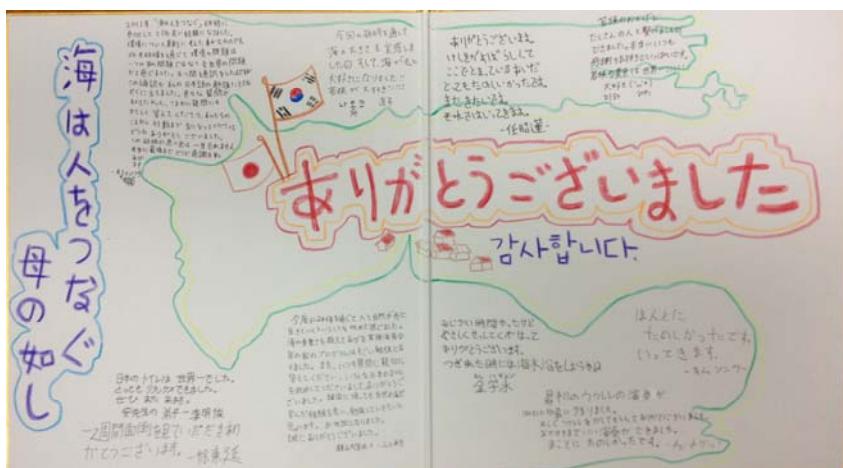
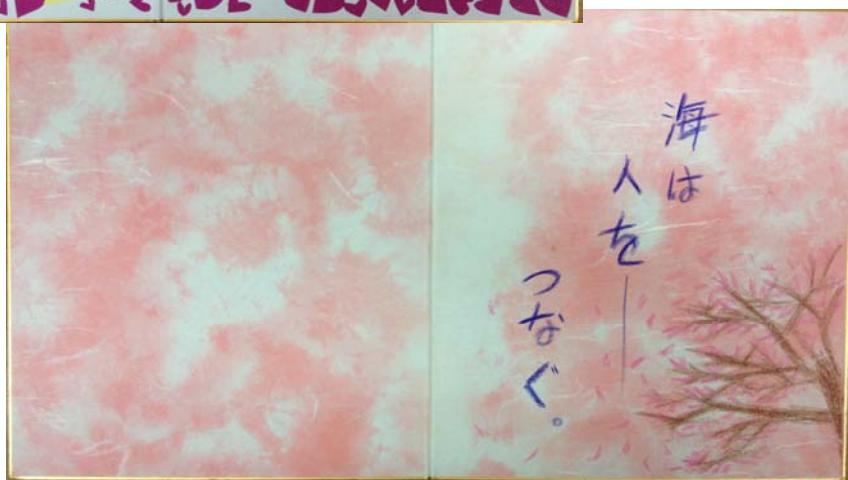
○12月21日（金）午後 【交流事業③】：環境問題をテーマにしたディスカッション
(京都教育大学)



ゆっくりと「環境」を考えて、みんなの考えはどうなるのかを話し合って楽しかった。確かに、自分たちも環境問題の初めだということがわかつて、これからも気をつけていきたいと思った。
イ ユミ

環境に対する僕の考えを、みんなに話すことができてよかったです。
パク サンミン





6. 成果と課題

韓国の大学生 25 名は、兵庫県豊岡市～福井県小浜市～京都府京都市の 3 府県にて日本からの参加大学生 6 名と共に、寝食を共にしながら、漂着物回収やさまざまな研修を通して青少年を中心とした多くの日本人との交流を図ることができた。一般市民とのふれあいや各所での交流行事を通して多くの日本人との交流も持つことができた。

また、日本の文化や海をつなぎ日韓間の歴史に触れながら、日本の文化に直接触れることで日本への理解を深めることができた。

行程の中で 2 カ所の海浜での漂着物回収やコウノトリ保護についての環境学習を行った。福井県立大学小浜キャンパスでは日本人大学生とともに環境交流フォーラムを開催することで国際的な海洋環境問題についての認識を深めた。さらに京都教育大学では学生および環境保全を考える市民団体の方々とディスカッションすることで、環境問題に対して自分自身の考えをしっかりと再構築することができた。さらに、自分の考えをアウトプットする場面の設定を増やすことで、次世代リーダーとしての人間力を高めた。

受け入れ事業を開催に関して、施設側の事業 PR の不足により、日本参加者が少なかった。次回は国際交流への興味・関心の高い、外国語系大学および外国語学科や国際科などの学科がある大学をターゲットとして、PR を実施したいと考える。また、スタッフ数が少ない中での事業実施であったこともあり、担当者への負担が増大した。スタッフの人員配置等を含め、適切な運営スタッフを配置できるように準備したいと考える。



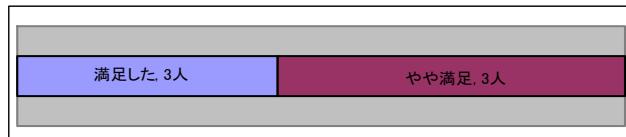
1. 日程

	月 日	場 所	時 間	内 容
1	2月 7日 (木)	日本 韓国	19:55 21:45	関西国際空港発 金浦空港着 ソウル市内へ移動 【宿泊】ロッテシティーホテル麻浦 ホームステイ先
2	2月 8日 (金)	韓国 ソウル	9:30 19:00	活動報告会および写真展 (日本大使館 広報文化院 2F シルクギャラリー) 夕食交流会① 【宿泊】ロッテシティーホテル麻浦 ホームステイ先
3	2月 9日 (土)	韓国 ソウル	9:30 14:00 19:00	韓国歴史学習① 景福宮等見学 韓国文化研修 「ナンタ」鑑賞 夕食交流会② 【宿泊】ロッテシティーホテル麻浦 ホームステイ先
4	2月 10日 (日)	韓国 ソウル	9:30 13:30 18:00	韓国歴史学習② (韓国民族村) 韓国歴史学習③ (統一展望台) ソウルタワー見学、南大门および明洞市場散策 夕食交流会② 【宿泊】ロッテシティーホテル麻浦
5	2月 11日 (月)	韓国 ソウル	16:55 18:35 20:30	ソウル市内散策・帰国準備 金浦空港発 関西国際空港着



3. 各活動アンケート結果および感想

○2月 8日（金）午前午後 【リーダーシップ】：写真展および報告会への参加



若狭研修の写真を見て思い出に浸り、また、そのときの人たちとの再会の場となり活気あふれる場所だった。新しいメンバーとの出会いもあり、研修や東日本大震災の募金活動のことについても知ることができた。今思うと、受身であったので、もっと写真展の準備の経緯などについても話をすればよかったと感じている。

長谷川 柚希



今年の交流事業だけでなく、過去の写真も展示することで、沢山人の参加や、ゴミの種類、交流の深さを知ることができた。東日本大震災の募金活動を行っていたことに感動し、とても温かい気持ちになった。

牧 しづか

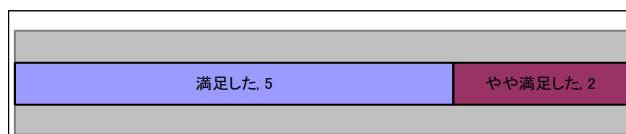
私は、今回このプログラムに参加させていただき、ここまで経緯や、それまでどういった活動を行っていたのかについて研修は受けてはいたが、実際の写真展に参加し多くの知ることができた。ただもっと積極的に参加できなかつたことに少し後悔している。

関 かなこ

自分たちの参加した活動だけでなく、前年度までの活動の雰囲気も感じられて良かった。

渡邊 幸太

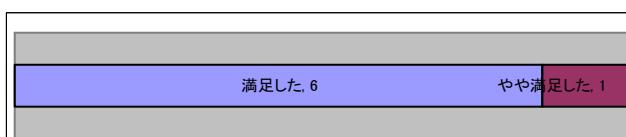
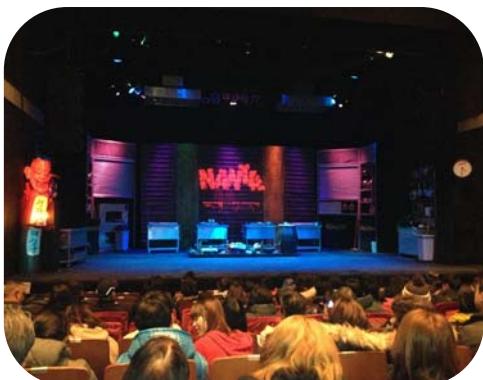
○2月 9日（土）午前 【韓国歴史学習①】：歴史的資料館等見学・学習①「景福宮」



歴史的な事象にとても興味があった。景福宮の見学はとても勉強になった。交流に参加してくれた学生がガイド役をしてくれた。もし、自分が日本の名所を案内するとなつた場合、今回の学生のように上手にガイドができなかつたと思う。自国の知識を知らなければと痛感した。

関 かなこ

○2月 9日（土）午後 【韓国文化研修】：「ナンタ」鑑賞



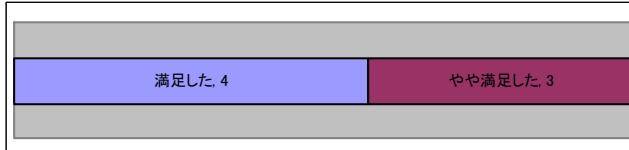
言葉が通じなくても、目で見て楽しめる舞台に感動した。舞台を見に集まった見知らぬ人たちが、一緒になって思いきり笑える空気を作り出す舞台は、本当にすごいと思った。

川村 直子

言葉を使わなくとも、音やジェスチャー、表現で笑いが取れることを実感した。

牧 しづか

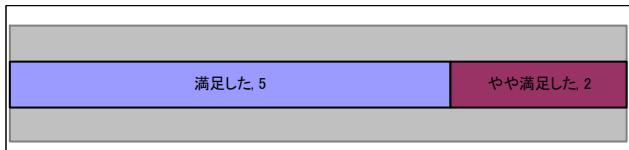
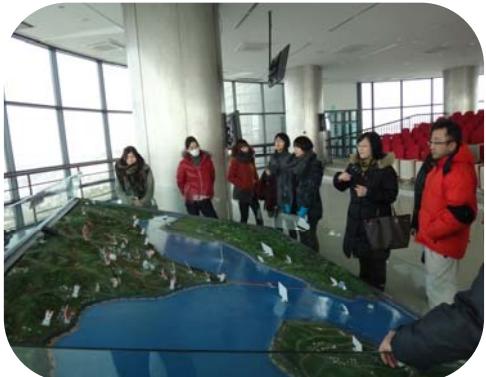
○2月10日（日）午前 【韓国歴史学習②】：歴史的資料館等見学・学習②「民族村」



昔の風景をそのまま再現してあり、とてもわかりやすかった。建物の造りや服装、伝統、食べ物など、日本とは違っていたため、同じ人間であっても、国によってここまで変わっていくものだということを感じ、学ぶことができた。
堀内 美輪

軒先にいろいろ干してある様子は、日本でも見る光景であり、共通の文化を感じた。
渡邊 幸太

○2月10日（日）午後 【韓国歴史学習③】：歴史的資料館等見学・学習③「統一展望台」



今回の研修の中で、一番考えさせられた研修であった。韓國の人たちの歴史の捉え方や、北朝鮮との関係についてすごく考えさせられた。私は、将来教育関係の道に進みたいと考えているので、教育のあり方についても考える良い機会となり、本当に良かったと思っている。
沖上 あかり

最も印象に残っている歴史学習がこの研修であった。統一展望台から見た北朝鮮が、強く印象に残っていて、その国自体を知っているはずではあるが、その現状を改めて知った。南北朝鮮の問題や韓国の兵役の存在についても肌で感じ、これらについてももっと学習したいと思った。
長谷川 柚希



鳥頭山統一展望台はとても衝撃的であった。展望台から見る北朝鮮の風景も暮らしについても本当に考え深いものであった。改めて日本は平和で暮らしやすい国だと実感した。
堀内 美輪

一緒に交流をした韓国の学生から話しを聞いたり、国内の難しい問題に目を向ける時間となった北朝鮮に住んでいる人の暮らしや生活について知ることができ、とても内容の濃い時間となった。
川村 直子



4. 成果と課題

韓国の学生は受入れ事業後（帰国後）、事業報告のための展示会や発表会を実施した。

昨年は、その実施報告をいただいただけであったが、今回はその開催に合わせて、事業担当者および日本の参加学生を訪韓させ、開催協力を実施することができた。韓国での報告会を通して、日韓両国の学生が本事業で向上させた資質について、追跡の見取りりを直接担当者が確認・把握できたことは大きな収穫であった。また、訪韓の際には、韓国学生宅にてホームステイも実施していただくことができ、相互交流の幅もより一層広げることができた。

ただ、派遣日程が、韓国の旧正月とバッティングをしてしまったため、十分な研修や交流ができない恐れが生じた。日程調整をしっかりと行いながら、充実した研修プログラムが実施できるように準備したいと考える。

今後、更なる事業成果を図るためにも、まずは、日本参加学生の人数を増やしたいと考える。また、韓国の学生たちが日本国内で大変充実した研修を積むことができたことを受け、訪韓における日本参加学生についても長期日程の中で、充実した研修を実施できるように準備をしていきたい。



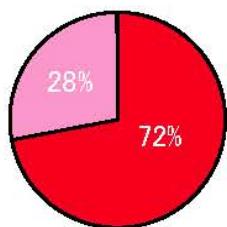
<参加者のアンケートおよび感想より(一部抜粋)>

【凡例】 ■大変よく深まったく／高まったく
■あまり深まらなかった／高まらなかった

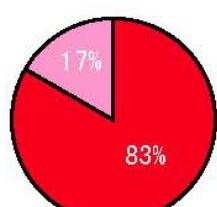
■よく深まったく／高まったく
■まったく深まらなかった／高まらなかった

海の環境問題についての理解が深まったくか

<韓国招聘者>



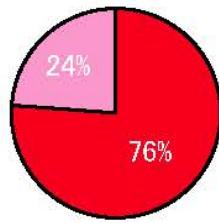
<日本参加者>



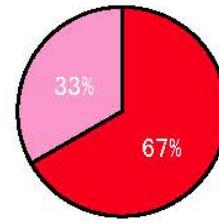
【漂着物から考える】

環境問題を解決していくための意欲が高まったくか

<韓国招聘者>



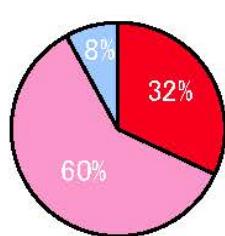
<日本参加者>



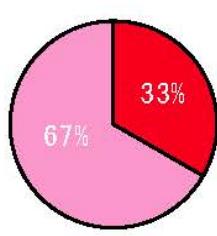
【環境交流フォーラム①漂着物を通して意見交換】

日韓間の歴史について理解が深まったくか

<韓国招聘者>



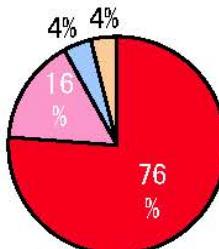
<日本参加者>



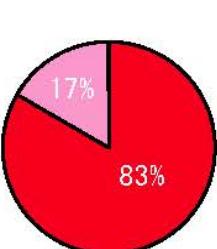
【福井県立歴史民族資料館】

国際関係を発展させていくための意欲が高まったくか

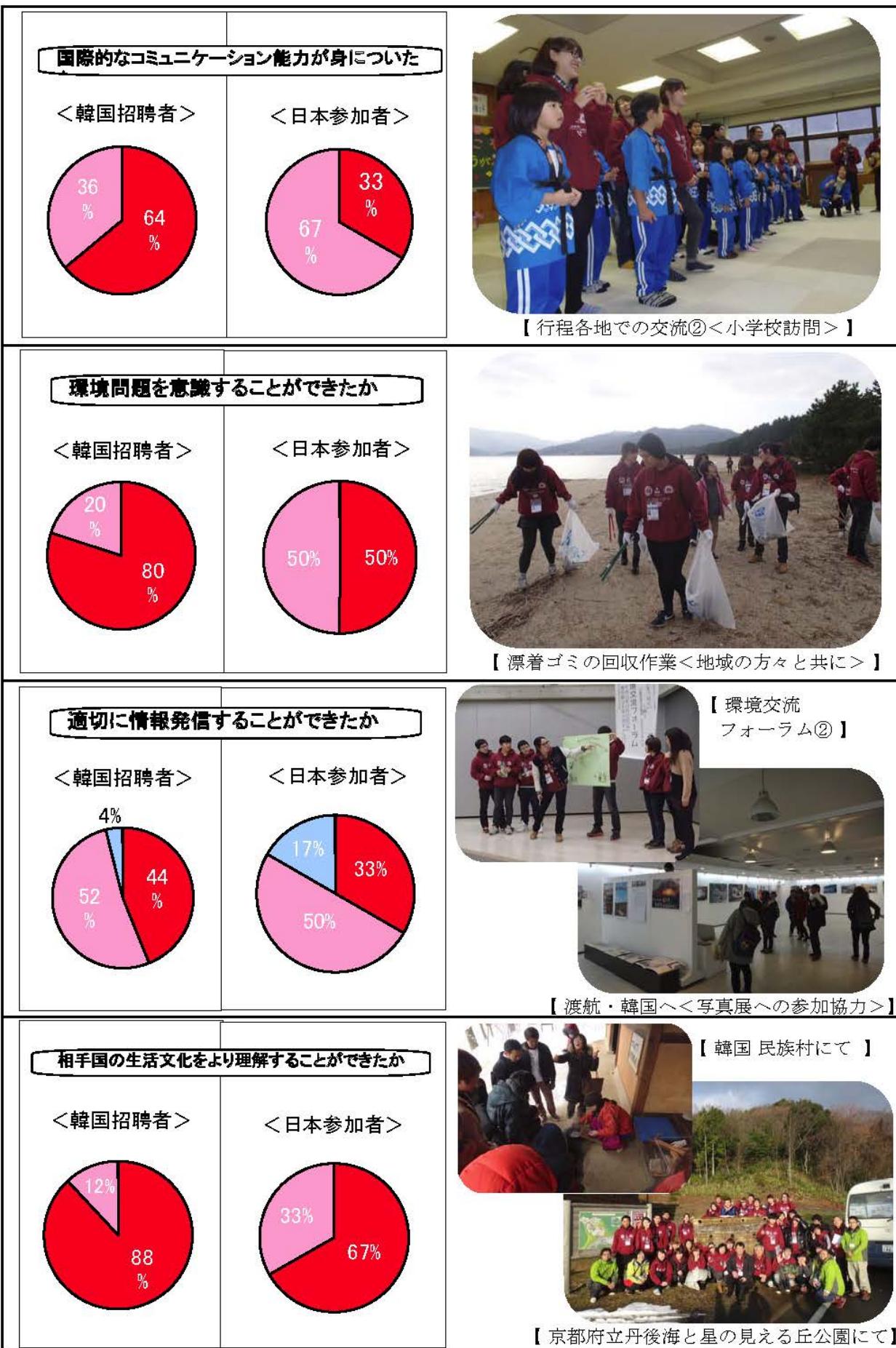
<韓国招聘者>



<日本参加者>



【行程各地での交流①＜高等学校訪問＞】



○韓国と日本の関係は、昔から良い関係にありました。しかし、植民地支配など暗い歴史があったあと、両国の関係は悪化してしまいました。このような認識を持った現代の私たち若者が、力を入れて両国の関係を良い方向に向けて行きたいと思います。
(韓国学生・女子)



○ずっと昔から一緒に歩んできた隣の国であり、いくつかの問題で両国の関係がよくなかったという部分もあるかもしれないが、だからこそ、助け合っていく必要があり、友好国でなければならないと思います。
(韓国学生・男子)



【座禅体験】
○お互いの違う文化を理解し、それを受け取りながら、自らの考えを広げていきたいと考えています。
(韓国学生・男子)

○私は、韓国と日本の関係をもっと良くするために、さまざまな活動をしていくことを、ここで誓いたいと思います。これは、韓国と日本との関係だけじゃなくて、そのほかの多くの国々についても同じようにしていきたいと考えています。
(韓国学生・男子)

【 豊岡市・コウノトリ郷公園にて研修】

○実際に今回の研修で、日本人と韓国人が出会って仲良くなつて見ると、今回のような研修の大切さに改めて気づきました。小さい研修かもしれません、この小さなことの積み重ねが大事だと思います。
(韓国学生・女子)



○私は、今回の研修を通して、日本語と日本の文化を理解することができました。この研修で学んだことや経験を、これから的人生に役立てて行きたいと思います。
(韓国学生・男子)

○韓国のゴミが、日本に漂着することを考えると、国際社会は一つだと思いました。
(韓国学生・女子)



【受入れ時、毎晩行われた日韓学生主導による振り返りミーティングの開催】

○それぞれの国によって歴史の学ぶ内容、伝え方が異なり理解しにくいこともたくさんあるけれど、お互いに「知ろう」とすることが関係が深まる第一歩だと思った。知っているようでも知らないお互いの国について理解が深まりました。
(日本学生・女子)



○広い範囲への発信は難しいけれど、草の根的な運動や身近な人に向けて、今回の経験や学んだことを積極的に伝えて行きたいと思います。
(日本学生・男子)

○言葉の壁は大きいけれど、お互いに伝え合おうとして通じ合えることはすごいことだと思った。一日一日一緒に生活していくことで、みんなの会話の内容に変化が見られていく様子が楽しく、充実感を得ることができました。
(日本学生・女子)

○韓国の文化・歴史・日常の生活を通して、たくさんのこと学びました。ただ、私が一番刺激を受けたことは、韓国的学生たちの考え方や、明るさ、優しさに触れて感じた「人と人との繋がりのすばらしさ」です。人ととの交流は、人を変える大きなきっかけとなると思いました。
(日本学生・女子)

【訪韓 景福宮前にて】

(2)事業運営上の課題

- 事業PRの不足により、日本参加者が少なかったため、次回は国際交流への興味・関心の高い、外国语系大学および外国语学科や国際科などの学科がある大学をターゲットとして、PRを実施する。
- スタッフ数が少ない中での事業実施であったこともあり、担当者への負担が増大した。スタッフの人員配置等を含め、適切な運営スタッフを配置できるように準備する。
- 派遣日程が、韓国の旧正月とバッティングをしてしまったため、十分な研修や交流ができない恐れが生じた。日程調整をしっかりと行いながら、充実した研修プログラムが実施できるように準備する。

(3)事業成果の課題

今後、更なる事業成果を図るためにも、まずは、日本参加学生の人数を増やしたいと考える。また、韓国の学生たちが日本国内で大変充実した研修を積むことができたことを受け、訪韓における日本参加学生についても長期日程の中で、充実した研修を実施できるように準備をしていきたい。

4. 団体紹介

- ①団体名 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立若狭湾青少年自然の家
②団体概要 本施設は、若狭湾国定公園のほぼ中央に突き出た「田烏半島」の一画に位置し、施設の目の前には雄大な若狭湾が広がり、リアス式海岸特有の美しさを見せて います。
また、背後には標高300mの起伏に富んだ山並みに恵まれ、豊かな自然環境は四季折々の見事な美しさをかもし出しています。
この豊かな大自然の中での、仲間との宿泊、海浜・海洋活動、自然探求・観察活動などのさまざまな体験活動を通じて、次世代を担う、たくましく、心豊かな青少年の育成を目指して設けられた青少年教育施設です。
③住所 〒917-0198 福井県小浜市田烏区大浜
④電話 0770-54-3100
⑤Email wakasawan@niye.ne.jp
⑥URL <http://wakasawan.niye.go.jp>



◆若狭湾青少年自然の家所章
(青少年が海に向かって両腕を広げたくましく成長していくことを象徴しています)



◆トビー
(若狭湾青少年自然の家のマスコットキャラクター
若狭の海を飛び交うトビウオに青少年の健やかな成長を託しています)